

# 第13回 江山地区義務教育学校設立準備委員会

令和2年2月18日(火) 19:00

鳥取市立美和小学校 2階 多目的ホール

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 報告事項

### (1) 2部会の検討状況について

・教育環境整備部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

・江山の宝応援部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

### (2) 江山学園開校後の教育環境等に関する申し送り事項について・・・・・・・・資料3

## 4 議 事

(1) 校章について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

(2) 広報紙の内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5

(3) 学校応援組織について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6

(4) その他

## 5 その他

## 6 閉 会

## 江山地区義務教育学校設立準備委員会委員名簿

区 分	役 職 等	氏 名	部 会	備 考	
1	地域代表	神戸地区区長会推薦	栗本 保夫	教育環境整備部会	委員長
2	地域代表	美穂地区区長会推薦	松本 広幸	教育環境整備部会	
3	地域代表	大和地区区長会推薦	中村 徹	江山の宝応援部会	
4	保護者代表	美和保育園保護者会	森田 匡隆	教育環境整備部会	
5	保護者代表	美和保育園保護者会	森下 将伍	江山の宝応援部会	
6	保護者代表	神戸小学校PTA会長	山本 賢璋	江山の宝応援部会	部会長
7	保護者代表	神戸小学校PTA副会長	坂本 訓子	教育環境整備部会	
8	保護者代表	神戸小学校PTA	牛尾 早知	教育環境整備部会	
9	保護者代表	美和小学校PTA会長	上田 光徳	教育環境整備部会	副委員長、部会長
10	保護者代表	美和小学校PTA副会長	有田 京子	江山の宝応援部会	
11	保護者代表	美和小学校PTA	前田 真琴	江山の宝応援部会	
12	保護者代表	江山中学校PTA会長	谷口 範仁	江山の宝応援部会	
13	保護者代表	江山中学校PTA副会長	石尾 万紀子	江山の宝応援部会	
14	保護者代表	江山中学校PTA	山本 敏夫	教育環境整備部会	
15	保育園代表	美和保育園園長	鈴木 知加	教育環境整備部会	
16	保育園代表	美和保育園副園長	太田 信子	江山の宝応援部会	
17	学校代表	神戸小学校校長	山根 啓嗣	江山の宝応援部会	副部会長
18	学校代表	神戸小学校教頭	梶浦 紀生	教育環境整備部会	
19	学校代表	神戸小学校教務主任	小谷 直和	(小中連携委員会)	
20	学校代表	美和小学校校長	安田 政彦	教育環境整備部会	副部会長
21	学校代表	美和小学校教頭	山口 尚子	江山の宝応援部会	
22	学校代表	美和小学校教務主任	田村 薫	(小中連携委員会)	
23	学校代表	江山中学校校長	橋本 伸一	教育環境整備部会	
24	学校代表	江山中学校教頭	長谷川 理恵	江山の宝応援部会	
25	学校代表	江山中学校教務主任	安木 良	(小中連携委員会)	

(事務局) 市教委事務局次長兼教育総務課校区審議室長 中村 隆弘

市教委事務局学校教育課参事 田中 浩史

市教委事務局教育総務課校区審議室主幹 竹田 潤

市教委事務局学校教育課主幹 福田 美奈

市教委事務局教育総務課校区審議室主任 大坪 宗臣

## 第 1 2 回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 令和 2 年 1 月 2 8 日（火） 1 9 時 ～ 2 0 時 3 0 分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員 1 1 名  
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員 1 名

### 4 議 事

#### （1）開校後の申し送り事項について

部会長より、開校後も教育環境について議論をするべき事項があるのではないかとということで、江山学園開校後の申し送り事項の取りまとめについて提案がありました。準備委員会の任期は 3 月末までですが、開校後は学校運営協議会が設立される予定であることから、そちらに申し送る形でまとめることとしました。3 月末までに検討すべきことと、開校後に検討することを整理しながら議論を行いました。

今回の案に加え、委員からは追加提案として次のような意見が述べられました。

- ・校舎北側の敷地について、出来る限り早く整地を行い、駐車スペース等の確保をおこなうこと。
- ・学校が避難所として運営される場合の、避難場所、動線等について検討すべき。
- ・ICT の整備、インターネット環境が良好な状態で確保されることも確認すべきである。
- ・長寿命化改修棟において、外断熱等エコスクールの視点を検討するよう要望する。
- ・校舎の外観（色）については、実施設計の段階で業者と学校で決定する。

#### （2）校章について

準備委員会で、校章を決定しましたが、「校章に込められた思い」の文章について様々な意見が出ました。そうした意見を踏まえ、部会長より、文章の修正案が提案されました。議論を行った結果、文章を修正し、次回の準備委員会に諮ることとしました。

### 5 その他

- ・今回の部会をもって、教育環境整備部会を閉じることとしました。部会長より、本日まで協力いただいたお礼と、来年度以降も学校運営協議会等、様々な場面で引き続き協力をお願いしたいとのあいさつがありました。

**第 11 回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（江山の宝応援部会）概要について**

1 日 時 令和 2 年 2 月 5 日（水） 19 時 ～ 20 時

2 会 場 大和地区公民館

3 出席者 【委員】江山の宝応援部会員 11 名  
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員 1 名

**4 議 事****(1) 広報紙の内容について**

「江山の明日」2月号の内容について協議を行いました。原稿を次回準備委員会で確定させた後、発行することとしました。

**(2) 学校応援組織について**

より良い江山学園、江山地区にしていくため、学校応援組織立ち上げに向けて、地域の代表、学校・保護者の代表で集まり、2月下旬を目途に会議を持つことにしました。この会議では、学校応援組織について初めて知る方もおられるので、組織の果たす役割・仕組みについて市教育委員会から改めて説明を受けるとともに、学校応援組織設立準備会の内容等について協議することとしました。

その後に開催する設立準備会では、学校応援組織の基本方針や重点目標などを具体的に協議し、結団式においてそれらを決定していくような流れで進めていくこととしました。

学校応援組織の会長・コーディネーターが決定するまでの準備段階においては、江山地区義務教育学校設立準備委員会の江山の宝応援部会の会長、委員である大和地区公民館長が中心となりながら会議の招集等を行います。委員の皆さんのご協力もよろしくお願いいたします。

(案)

鳥取市立江山学園  
学校長 様・学校運営協議会会長 様

江山地区義務教育学校設立準備委員会  
教育環境整備部会長 上田 光徳

鳥取市立江山学園の教育環境等に関する申し送り事項について（報告）

江山地区義務教育学校設立準備委員会は、平成30年8月27日に第1回の準備委員会を開催して以降、江山地区における義務教育学校の設立に向け、議論し準備を行ってきた。教育環境整備部会では、仮設校舎・長寿命化改修校舎・増築校舎の整備にかかる基本計画をはじめ、学校名・校章・校歌の選定など、計12回の部会を開催し熟議を重ねてきた。同時に、決定した方向性について、地域住民・保護者等へ広報紙「江山の明日」や、進捗報告会を通じ積極的に情報提供を行い、可能な限り意見聴取にも努めた。

来る令和2年3月31日をもって本委員会の任期が終了するにあたり、鳥取市立江山学園開校後の学校の教育環境にかかる事項について、新たな学校においても学校・保護者・地域で引き続き議論する必要があることから、申し送るべき事項をここに集約し、報告する。

記

1 江山地区義務教育学校設立準備委員会教育環境整備部会について

【設置目的】

江山地区における義務教育学校の設立準備のために設置

【教育環境整備部会の主な任務】

施設・整備（仮設校舎・長寿命化改修・増築校舎）の検討

教室配置の検討

校名・校歌・校章の検討

【委員】

【部会長】 上田光徳（美和小学校 PTA 会長）

【副部会長】 安田政彦（美和小学校校長）

【委員】

栗本保夫（神戸地区区長会推薦）、松本 広幸（美穂地区区長会推薦）、

森田匡隆（美和保育園保護者会）、坂本訓子（神戸小学校 PTA）、

牛尾早知（神戸小学校 PTA）、山本敏夫（江山中学校 PTA）、

鈴木知加（美和保育園園長）、橋本伸一（江山中学校校長）

梶浦紀生（神戸小学校教頭）

## 2 申し送り事項

### (1) 校舎整備後の増築棟の活用（地域開放）について

#### 【増築棟完成までに協議すべき事項】

- 増築棟1階コミュニティ・ルームは、運営協議会の開催にとどまらず、学校支援ボランティアの打ち合わせ場所、地域学校協働活動の本部、地域学習の際の地域の方と教職員の打ち合わせ等、地域とともにある学校づくりを目的として設計を行っている。このような目的を踏まえ、具体的な活用方法について検討されたい。
- 増築棟1階プレゼンルームは、義務教育学校としての特色を生かすために設計が行われている。したがって、1～9年が集会を行ったり、特設の教科「江山かがやき科」において発信力育成のために様々な学習活動に活用されたりするなどが考えられる。他方、読書交流・地域学習・交流給食等、開かれた学校づくりの中心拠点として活用されることも望まれる。このようなことを踏まえ、具体的な活用方法については、学校を中心に検討されたい。
- 増築棟については、2階家庭科室を含め、地域学校協働活動の考え方のもと、地域住民が広く利活用することを望むが、本来の学校運営に支障がでることのないよう、校舎完成までに、施錠や緊急時の対応などに関する運用規定等を定めること。

### (2) 外構整備について

#### 【早急に検討が必要な事項】

- 校舎の長寿命化改修工事が開始され駐車場が整備されるまでの間、参観日、運動会や文化祭などの学校行事、PTA 活動等の際に学校の駐車スペースが手狭になることが懸念されるため、学校近隣地での駐車場確保等について早急に対応策を検討されたい。なお、長寿命化改修工事が開始されるまでの当面の間は、現駐車場を利用することとする。
- 生徒の自転車置き場については、令和2年度中に整備することとし、設置場所等を具体的に協議されたい。なお、長寿命化改修工事が開始されるまでの当面の間は、旧校舎が利用可能なことから旧校舎内に駐輪させることとする。
- 体育器具については、基本的には現体育館等に収納することとされているが、開校後に実際に運用する中で収納しきれない場合は、必要規模に見合った体育器具庫の設置を早急に検討されたい。なお、長寿命化改修工事が開始されるまでの当面の間は、旧校舎が利用可能なことから旧校舎内に収納することが可能である。
- 上記、駐輪場、部室、テニスコート等については、仮設校舎撤去後を想定して一体的に設置場所を議論する必要がある。その際、校地の拡張が必要かどうかについても議論すること。
- 神戸線下りの竹生バス停から学校までの歩道が、神戸線上りの竹生バス停から学校までの歩道に比べて幅が狭いため、歩道を学校敷地内に拡張して幅を広げることができないか検討されたい。なお、歩道を含め県道であることから、県との調整を図る必要がある。また、学校施設内の工事施工については、市との調整を図る必要がある。

## 【令和2年度中に検討する事項】

- 学校農園については、今後の教育課程をみながら、設置の有無を含めて検討すること。
- 校庭については、上記設置場所等も考慮し、児童生徒の体育の学習や部活動などを行うにあたり十分な活動を行えるようなスペースの確保を含めて検討すること。
- 現在社会体育で利用している倉庫については、スポーツ少年団代表連絡協議会の意見を踏まえて、学校体育の活動に支障のない範囲で移動の有無を含めて今後検討すること。

### (3) 長寿命化棟について

- 長寿命化工事により、空調設備についても新規に設計が可能である場合は、外断熱工法等を検討するなど、児童生徒の居住空間の確保やエコスクールの観点も考慮されたい。

### (4) 管理棟について

- 令和2年度4月より、職員の数が増加することから、職員室の机、整理棚、事務機器等の配置等を検討し、職員の働きやすい環境づくりに配慮すること。

## 【その他】

- ICT環境については、特色ある学校づくりの観点や義務教育学校独自の特設教科「江山かがやき科」でプレゼンテーション能力の育成を行うという観点から、優先的に整備を行うよう引き続き要望すること。

(案)

## 鳥取市立江山学園の校章について

校名にある「江山」という名前は、江山（山河）の美しいところに英才（優れた人材）が生じるという意味に由来します。その校名に込められた思いや慣れ親しんだ名称を引き継いでいきたいということから、「江山」という文字が校章の中心に配置されています。

また、江山地区では、桃、梨、桜など様々な花が、季節ごとにわたしたちの目を楽しませてくれます。それらを象徴して表した花の模様が中央に配置されています。この花を見て子どもたちがふるさとに思いを寄せてほしいという願いが込められています。

校章の両側には、心も体も健やかな子どもをイメージした「青葉」、千代川とたくましく澄んだ気持ちを持った子どもが想起される「清流」がデザインされ、江山学園のめざす子ども像と自然と風土に恵まれた地を表現しています。



# 江山の明日



第 9 号

令和2年2月

## ～義務教育学校設立準備委員会ニュース～

### 開校まであと1ヶ月！

江山学園開校まであと1ヶ月となりました。校庭には、新校舎増改築のための仮設校舎建設が進み、その外観が姿を見せています。

12月8日（日）の中間報告会では、報告に先立ち、江山中学校の元教頭先生で現島根大学特任教授木下公明先生の「義務教育学校でひとづくり まちづくり」の講演が行われました。会場には木下先生に教わったかつての教え子たちの姿も見られました。

報告会では、仮設校舎及び本校舎の基本設計、校章、校歌、制服、新設教科「江山かがやき科」等について報告されました。制服はブレザータイプで男女兼用のものが採用され、中学校の中川生徒会長と藤岡副会長がモデルとなって紹介されました。詳しくは「江山学園通信第4号」又は江山中学校ホームページをご覧ください。

また、各校で参観日に説明会も実施しました。説明会では、スタートガイドブックを資料として江山学園についての説明が学校から行われました。

### 来年度からはいっしょだね！

#### ～3校の交流学習～

4月からの学校生活が円滑にスタートできるよう、仲間づくりの一環として、たくさんの交流学習をしてきました。子どもたちもすっかり仲良くなったり、お互いの地域のことを知りあったりしているようで、新学期が楽しみです。今回は3つの交流について写真で紹介します。



11月28日 第3学年・第4学年社会見学



1月21日 つくし学級とおおぞら学級交流学習



1月22日 第5学年社会見学

### 江山学園校歌完成！

「素晴らしい歌詞！」と地域の方が賞賛された校歌に、作曲家の上萬雅洋さんに曲をつけて頂き、校歌が完成しました。下記QRコードを読み取りの上、是非お聞き下さい。



江山学園校歌(QRコード)

作詞:奥野 和夫 さん

作曲:上萬 雅洋 さん

歌:江山中学校2年生の皆さん

伴奏:長谷川 理恵 教頭先生(江山中学校)

1月22日 第5学年社会見学

さきあ んよお がきぞ うせら んんは わだえ しいる ふなま るがな されび とるや ははは はやえ ばさい

4 たしち くいど ひこぶ とこん そろか ううう わわわ ととと こここ ーーー ろろろ あせみ させど ひらり

8 のぐと なおみ かどす ににに かい がやだ やさか いたれ たたた

12 みみん ななの のの おつほ もばこり いさり かひた なるか えげめ よよよ ううう こここ

76 めんが くえん んん ゅめうし をせん しをを んもむ じっね ててに

# ビッグスマイル集会を開催します！

来年度からの学校では、義務教育学校のよさを生かして、1年生から9年生までの児童生徒が異学年集団で班を作り、上学年のリーダーシップや自治力の育成を図ります。

来たる3月13日（金）13：30から、「ビッグスマイル集会」として3校の児童生徒が集まり、縦割り班で新しい校歌を練習したり、仮設校舎を見学したりする会が開催されます。現在建築中の仮設校舎をみんなで見学することで、「4月からここで、みんなで勉強するんだなあ」と子どもたちが期待に胸を膨らませる姿が想像できます。

## 連載 ～コミュニティ・スクールってなあに～



コミュニティ・スクールは、鳥取市だけでなく国・鳥取県も推進しています。今年度は県主催の学校協働活動についての研修会が2度開催され、学校関係者だけでなく、行政・公民館職員、地域の方々等幅広く参加され、平日ではありましたが、本準備委員会からも多くの委員が参加しました。

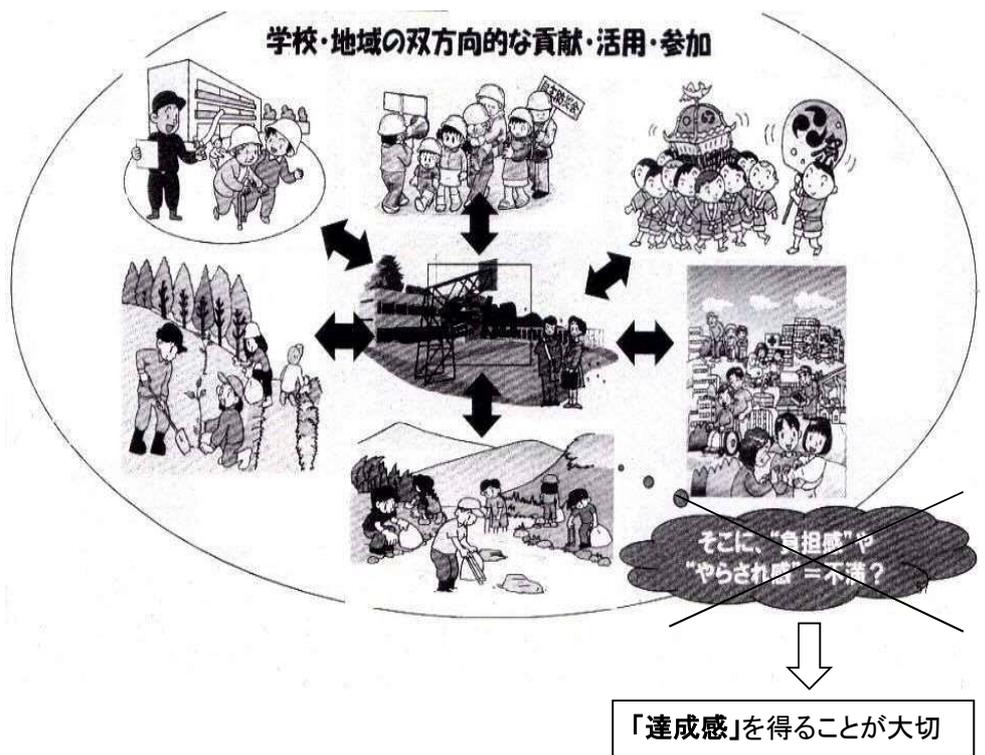
これからの学校と地域の関係は、これまでのように学校の要請によって支援・協力していく一方的関係から、学校と地域が互いに「当事者」となり、「共通の目標」に向かって課題等を共有し、双方向の連携・協働していく関係と対等性の関係が求められています。

ここでいう地域とは文字通り、地域に暮らす住民であって、PTAや自治会や青少年育成協議会、民生児童委員会等だけでなく老人クラブ、体育会等各種団体、各種サークルそしてあなたです。

現在行われている見守り隊・安全ボランティア、花づくり・野菜作り、学校環境整備、ゲストティーチャー（昔の遊び・梨の栽培等）、読み聞かせ、学習支援は一方的な奉仕・支援です。これらの活動は今後も必要ですが、双方向となるためには、地域の防災訓練、一斉清掃や祭りなどの地域行事に子どもたち（学校側）が単に参加するだけでなく企画運営にも関わることが求められます。大切なのは、「負担感」や「やらされ感」ではなく、「主体的」に取り組み「達成感」を得ることです。大人が地域行事や学校行事で子どもたちとふれあうことが大切です。

先進的なところでは、教室や図書館が開放され住民が自由に学習に参加して子どもたちの学習支援をしていたり、図工室・音楽室等で絵を描いたり、楽器を弾いたり、図書室で読書をしたりしています。学校が地域に開かれ、学校が「子どもも大人も集う場」「地域と学校を結ぶ場」となっています。

江山学園は、コミュニティ・ルームが増築棟に設置されますが、地域の人が学校に自由に集えるスペースを想定しています。このスペースを単に利用するだけではなく、江山学園のめざす子ども像「自ら学び、豊かに表現する子ども 思いやりのある心を持ち、進んで人と関わる子ども 心も体も健やかに、たくましく生きる子ども」を実現するために、地域で一緒になって「地域を思う子ども」を育てていきたいものです。



発行：江山地区義務教育学校設立準備委員会  
事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室  
TEL:(0857)20-3089  
:(0857)30-8405  
E-mail:kokushingi@city.tottori.lg.jp

## 江山学園応援組織 設置までのスケジュールについて

- 2月〇日 3地区の区長会長、まちづくり協議会会長、公民館長、学校長、PTA会長による話し合い  
内容：応援組織の設置趣旨等説明、設立準備会の参加者、応援組織のメンバー、設立準備会の日程・場所の決定、設立準備会の会議内容確認
- 〇月〇日 江山学園応援組織設立準備会  
内容：会の名称、会長・コーディネーターの選出、結団式の日程、結団式の内容、その他
- 〇月〇日 江山学園応援組織結団式  
内容：活動の基本方針・重点目標の決定、令和2年度の学校運営について確認、その他

令和2年2月19日

〇〇地区区長会長  
〇〇地区まちづくり協議会会長  
〇〇地区公民館長  
〇〇〇〇学校長・PTA会長  
〇〇〇〇 様

江山地区義務教育学校設立準備委員会委員長  
栗本 保夫  
同委員会江山の宝応援部会部会長  
山本 賢璋  
同委員会委員・江山中学校校長  
橋本 伸一  
同委員会委員・美和小学校校長  
安田 政彦  
同委員会委員・神戸小学校校長  
山根 啓嗣

鳥取市立江山学園応援組織の設立に向けた意見交換会について（お願い）

梅花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年4月に開校する江山学園の設立準備にあたり、平素からご理解・ご協力をいただきお礼申し上げます。

江山地区義務教育学校設立準備委員会では、江山学園開校後の学校・地域・保護者の協働による、より良い学校の姿を検討してまいりました。社会構造の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境は複雑化しています。したがって、これからは学校と地域が互いに「当事者」となり、お互いにメリットになるように、学校と地域が「共通の目標」に向かって課題等を共有し、双方向で連携・協働していく関係がますます重要になると考えます。こうした活動によって学校・地域・保護者が負担を感じるのではなく、活力のあふれる地域づくりや、より良い学校づくりにつなげ、皆が達成感を得られるような取組をめざし、江山学園応援組織を設立してはどうかということで本委員会において方向性を打ち出したところです。

つきましては、下記のとおり応援組織の設立に向けた意見交換会を開催しますので、ご多用の折とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和2年2月27日（木）午後〇時から
2. 場 所 大和地区公民館
3. 内 容 学校応援組織の説明、設立についての意見交換 等

《問合せ先》

〒

電話：( ) -